

24/11/5 令和6年度第2回名古屋市公共事業評価監視懇談会  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:29

緑政土木局企画経理課 高木：はじめる

13時半-4時くらいまでの予定

配布資料の確認 議事録

傍聴者にも同様の資料配布

希望する場合は持ち帰れる

本日 ・道路ネットワーク

・地域居住機能

・堀川

10/22 懇談会 事業別説明 一部のみ視察

事後評価、再評価結果 第1回懇談会要望の追加資料

これ以降は鈴木座長に任せる

鈴木：こんにちは

意見交換

委員から一言ずつコメントを

箕浦：緑政土木局道路建設課

道路ネットワーク

旅行時間短縮

13 ページ達成率

②滞留長 25%目標→0%

③歩行空間 100%目標→91%

用地買収に手間取ったため

14 ページ

目標値算出方法 渋滞基準時速 20km で

15.16 ページ

17 ページ

水野：住宅都市局

②③説明

18 ページ 用地取得が難航したため

19 ページ 用地取得が難航したため

13:47

箕浦：事業効果

22 ページ

23 ページ 目標と実績 差が出た原因

- ①一部区間で整備前より旅行時間が長くなった  
周辺整備未完了のところがある

13:51

鈴木：なにかあれば

宮崎：23 ページ

用地取得が難航した→どういう状況か  
歩道 整備目標していたが、片側一部  
通学路にはなっていないのか？小学校？

水野：用地取得 現道があって用地買収

数件進んでいない ご事情がある

用地取得できた部分から道路拡幅、歩道整備している

通学路 取得していない 歩道がない部分があるので、おそらく通学路になっていない

鈴木：他は

岸田：基本的なところお願い

何ページ 私たちが見てることを確認してから

市民に説明する基本

大前提 7 ページ 選択と集中により整備

- ・3つ指標 ほかに選択肢はなにがあったのか  
前回知りたいといった
- ・通学路があるかどうか

道路の問題 まさに地域に密接な事業

住民の声がどのくらい反映しているのか

市としては基本的な観点

事前に行う調査 どの程度されたのか

ないとしたら選択と集中 この選択をした

問題があるといっているのではなく

役所の中で整理されているのか

箕浦：早口で申し訳ない

1 点目 選択と集中

都市計画道路を整備 市で整備できていない道 どんな順番？

未着計画 順次路線整備している

優先順位の決め方 都市計画道路の決め方

- ・交通ネットワーク
- ・防災
- ・市街地形成

第2次整備プログラム 点数化して優先度高い、次、大きく決める

岸田：一般論としての点数化があるのか

箕浦：名古屋市である

2 点目 地域住民の要望

第2次整備プログラム パブコメで地域の皆さん聞いて、優先順位を決めた  
広く吸い上げた

岸田：パブコメは何件？

箕浦：資料がない

鈴木：理解が追い付かなかった

評価指標をどうやって選んだか 答えがなかった

3つ今回あげた

ほかにもある中？

箕浦：同じ道路整備 指標3つ ①移動時間短縮 道路を新しく作る 新たな交通ネットワーク

効果があるのが時間

②既存2車線→3車線拡幅

交通ネットワークが存在 渋滞を減らそう

③歩道 ②に似ている

拡幅して歩道を設置 歩行者の安全に寄与

鈴木：複数の中で選んだのかがわからない

ほかがあるのか

岸田：いくつかあるなかでこれに決めた理由

鈴木：評価の指標は分かるが、どんなほかの指標があるのか

箕浦：いろんな評価項目がある

①旅行時間の改善

その他②滞留長の改善

③安心安全もある

防災上の向上もある

大きなこと 都市計画道路の整備率が上がる

鈴木：各指標 1対1に聞こえる

②は新設だから議論できない？わかった

村瀬：そもそも全体像がみえるといい

指標①3つ 豊明市とつなぐのが重要 何が目的？

ルート1 時間が長くなった？距離が短くなった 特別な滞留地点があるのか？

20メートル

ルート1 生活道路に行く交通量が減った？

箕浦：道路の整備 地域間連携を高める

豊明市と緑区を結ぶ交通ネットワーク 1ルート

目標値 20キロメートル 一般的に渋滞 交差点の速度の基準

既存の道路がない中 渋滞を基準とした

村瀬：新設なので、もとのぐるっと回るルートと比べたわけではない？

○：う回路 旅行速度が20キロ

渋滞 20キロ以下

渋滞しないときは20キロと設定した

岸田：そこから先が知りたい

距離が短くなっているのではないか

その点は

箕浦：15ページ上 赤の方が短くなった

岸田：結果的に時間がかかった

箕浦：迂回青色と、赤色の線

青 9 分 28 秒 赤 5 分 17 秒

黒色実線 道路事業と関係ない 時間が増えた 7 分 28 秒→11 分 56 秒

赤を整備した 周辺で整備が終わっていない

完全に出来上がっていない 黒に時間がかかった

岸田：どこに道路ができたら解消するか

箕浦：平行するような形 平手豊明線が未整備

岸田：そこが整備されたら解消される？

箕浦：同じ方向なので解消が見込まれる

鈴木：前後区間 評価書にある

実際には黒い線の右折が渋滞しているのでは？

近くの路線整備で渋滞解消できるのでは

指標 一部しか整備できなかったから 0%

数値 滞留長が示されていなかった

実際はどうか

歩道も 片側整備はどのくらいあったのか

利便性が向上できれば 事業の進捗はどの程度

水野：70メートルが最大滞留長

歩道整備 片側 120メートルは整備した 反対側が未整備

進捗 梅の木線、名古屋高線 20-30年やっている 90%

鈴木：800メートルが残っている？

水野：事業費ベースだと 90%

用地買収進んでいないところ

買収完了は工事している

鈴木：まとめをしないといけない時間

コメントを頂ければ

岸田：気になったところ

12 ページ 特記事項 どこに書いても通用する

この事業の特記事項を

「用地取得が難航したため」間違っていないが、〇〇により イメージがわく  
この事業はこう 言葉として浮かび上がってくる方がよいのでは

村瀬：選択と集中 防災機能優先したとか、意味が伝わるという

宮崎：説明文書は別として、渋滞

はかるときに思い通りに行かなかった

用地買収は難しい

歩道 写真 いろんな人がいる 誘導用の場所はセットで  
いろんな方が通る

宮本：23 ページ

整備した結果増えたが、赤線は時間が減っている

1 ルート 未整備道路が整備されることで時間短縮されるのだろう

重要だと思うので、「黒線が交通量が増えた 今後分散予定」書いた方がいい

「用地買収が難航」今後も進める 進めていけるのか？

まったく進んでいない？見通しが書かれていない

達成状況説明にはなっていない

水野：進捗 90%→80%に訂正

鈴木：そういった情報をペーパーに入れてほしい

この5年間でどう取り組んでどう進んだか

市民に分かっていただけるように 背景が伝わるのが重要  
最終形は？

高木：最終形は先生方にみてもらう

鈴木：5分休憩

14:25

村瀬：用地買収は難しい

宮本：難しければ今後と書いてはいけない

宮崎：無理なことは無理

14：27

高木：よろしいか

鈴木：再開 住宅都市局 地域居住機能再生推進事業

山岸：住宅都市局住宅整備課

25 ページ

27 ページ 戸田明正地区 近鉄戸田駅1キロほどのところ 市営住宅

29 ページ 名城東地区 北区、東区、千種区 6市営住宅建て替え

生活支援地区 集会所、保育園整備進めている

31 ページ 再評価結果及び対応方針

戸田明正地区 B/C 国土交通省住宅局 再評価指標に基づく

家賃算出 所得の低い人に低廉な住宅供給 こちらは市場家賃で計算

公営住宅法 家賃算定基準

貨幣換算困難な指標 耐震性向上

戸田明正 計画通り

名城東 すべて着手 4団地建替え完了

標準設計による規格等の統一

名古屋市としては継続したい

14：37

岸田：戸田明正は耐震性がある？

山岸：以前耐震性あった

宮崎：コスト縮減

立て直し PFI 事業は？

居住水準見直し

猛暑日 室内で亡くなられた方も

断熱設計など見直しを

山岸：PFI 今回はなかった

別の事業進めている

今後も名古屋市 積極的に PFI を進めている  
市営柳原荘 第3期 PFI 実施し完了した  
居住水準の向上 実際見て、夏  
断熱性能 国の基準上がっている  
今着工住宅 以前より断熱性能あがった  
これからも標準に  
標準設計 見直ししている  
社会情勢、コストの問題踏まえながら適宜見直し

鈴木：そのほか

岸田：B/C 1以下 見通しは

山岸：公営住宅採択評価指標 国交省  
家賃触れたが、当然所得の低い人から高い家賃は取れない  
住宅に見合った家賃を取る  
1を超えるのはなかなか困難と位置付けられる  
コスト削減念頭にして

岸田：国交省でいくつからいくつまで決まっているか？

山岸：一応 B/C を 0.8 以上目標とする

鈴木：重要な話  
通常は 1 を超える  
国交省 0.8 を超えている

山岸：そう考えている

岸田：普通ならそうなる

鈴木：説明に加えて  
計算のところ 総事業費 134 億円、203 億  
名城東 すでに 225 億円

山岸：両事業とも途中



鈴木：これまで終わったところ？

残事業はどれくらい？国の基準でこれを出せばいい？

今後の方針決めるときに

山岸：B/C 用地費も含まれる

建て替え事業 新たに用地を取得はしない

柳原 用地を取得した 今回の期間外 今回には入っていない

基準の中で、建て替え 用地費計上しなさいと国土交通省

建設費のほかに用地相当額が含まれる

総事業費 用地費が入っていない

比較対象難しい

鈴木：事業は途中 今後発生する費用は入っているのか？別？

山岸：今までの事業費について掲載

事業が進むと費用がかかる

鈴木：目安 総事業費と一緒にくらい？

戸田明正 総事業費 134 億円

何を対象に評価しているのか

ここまでかかったものを評価しているのか？

どういった数字を使ったのか

山岸：計画期間内 終わった事業 建て替え事業で計算

維持管理費 充当の維持管理費を見積もった

鈴木：これから建て替える 費用と便益は同じような比率？

山岸：そう

鈴木：そのような説明があれば

事業の進捗が分かれば

岸田：言葉が分からなかった

近傍？

鈴木：近傍同種家賃 公営住宅法で計算が決められている

村瀬：戸田、名城 住民にサービス 保育園、高齢者はないのか

山岸：戸田明正 27 ページ

黄色の上 小学校

東 市立保育園

住宅建て替えて整備するものではない 大きな団地 保育施設はある

村瀬：もともとあったので評価はしにくい

山岸：そこまでは

鈴木：そのほか

再評価 投資効果

公営住宅 社会的に高まっている

「期待されているので事業を継続する必要がある」メッセージは

山岸：入居者移転してもらって建て替え

時代の要請は重要

どこまで公営住宅 どれくらいの整備の水準保つか 書きにくいところ

老朽化を建て替えと書いた

岸田：「設備の陳腐化」すごい

鈴木：そのほか

事業の結果 コメントを

岸田：特にここはないが、違い

評価の紙 右から3つめ 貨幣換算が困難

再評価の視点 違い

耐震性 上は入っていない 比較してできるか

すでにできているよというはなし

効果等 ここはできてるよという理解か

山岸：右から3番目

岸田：実際には耐震性は書いていない

そこは考慮しなくていいという意味か

山岸：耐震性は確保されている

岸田：書いていないのはどうしてか

「耐震性は確保されている」明記するとわかる

村瀬：2つの住宅続く

バリアフリー、耐震性はあったが、環境配慮、断熱、  
欲を言えば太陽光

宮崎：見学感想 設備は浴室和式→変わった

標準設計はわかるが、玄関周りが狭い

お子さん 年寄りシルバーカー

設備アップ 常時されている

洗濯機の置き場所 ドラム式は入らない？

あそこだと置けない コストを削減、標準設計はわかるが、

スパイラルアップして

名古屋市 集会所うまく活用している 運用の仕方

公営住宅 大規模団地 防災拠点にもなる コミュニティの核

地域の人もわかりやすく、交流が進む

地域の実情に合わせた 目的外使用？

宮本：31 ページ

・戸田明正 居住水準の向上

・名城東 耐震性

目的が違う

加えただけでは伝わらない

鈴木：事業継続 これだけ進んでいる 0.94 0.89 国交省目安をつけて

貨幣換算困難

防災の拠点 書いてもいいと思う

国交省マニュアル 書きにくいなら結構だが

最終まとめを進めて

5分ほど休憩

15:03

15:06

鈴木：再開

緑政土木局 堀川 33 ページ

緑政土木局河川工務課：35 ページ 総括表

堀川 黒い線 5 キロ

35 ページ 107 億 1400 万円

10 年確率降雨 63mm 内水氾濫発生

→下水道事業と連携 東海豪雨級でも床上浸水軽減

事業採択 5 年間で 107 億 1400 万円

国の政策 防災減災 3 か年計画 5 か年加速化対策

4 年で 107 億 1400 万円整備した

事業費上限を迎えた 完了→次の計画 2 期事業を凶っている

令和 4 年度まで 事後評価をいただく

事業効果 下水道事業と連携

費用対効果分析 後程説明する

37 ページ

第 1 回懇談会で説明

岸田委員から指摘 事業実施個所がわかりにくい 37 ページ箇所図

新堀川合流から猿投橋 治水対策が必要

整備済み箇所 薄めのグレー

事業で実施 護岸工 本体事業 1948 メートル

川の中 薄いグレー 掘削工

名古屋城右上 貯留管の設置

堀川 川幅広げる、川底掘る

右側写真 川幅広げるのは困難

川底を掘らないと

既設護岸老朽化 そのまま掘削すると崩落のおそれ

鋼管杭 両岸護岸工ののち掘削

「非出水期間中」増水しにくい時期 11 月～5 月まで

制約がある

家屋やビル 公有地が限られる 栈橋を出して河川内で工事

橋橋間 栈橋を 1 つしか設置できない

同時複数の橋橋間で工事 とびとびに見える

両岸出来たところから掘削する

左側実施個所

39 ページ 浸水面積示した 数値計算

ケース① 東海豪雨時の浸水被害再現

志賀本通、平安通、ナゴヤドーム前矢田

ケース② 黄色の範囲が少なくなっている

床下浸水 20-50cm

床上浸水 50cm 以上

5 か年整備も含まれる

2 割くらい減っている

40 ページ 資料番号 3

河川単体効果を B/C で評価

マニュアル準拠

整備中 30 年 整備計画策定から

完了後 50 年

浸水被害低減効果 貨幣換算できる一部のところ

雨の強さ 資料 2 東海豪雨 1 時間 97mm

B/C 1 時間 80 ミリで算定

便益 B/C2.2

1 を超えている

41 ページ 感度分析

事業費、工期増減しても効果は？

コスト増えた、減った計算

残事業と全体事業の B/C 同じ

15:27

鈴木：質問は

岸田：39 ページ 黄色と赤 合わせても 2 割減？

もっと少なくなった？

面積だけで？赤と黄色合わせて？

○：単純な数字カウント

岸田：どれくらい減ったか 赤が黄色

黄色が白 計算をしてみるのも手

下水道事業と一緒にしないと

下水道事業と別に費用対効果

○：そう

岸田：そういうものは考慮しなくていい？下水道工事は

- ：事業間連携 河川が実施したもの  
資料2 39ページ  
下水道事業は別途

岸田：37ページ 堀川が黒

- ：川の両岸が黒が飛び飛び

宮崎：整備すれば軽減するのはわかる  
避難所 小学校と合わせてみるとどうなるか？  
軽減は重要  
非常災害 避難エリア 入りそうな気がする  
どう効果 避難所が耐震性がない  
水害 小学校があるような

- ：採択要件 要配慮者利用施設、官公庁が含まれるか  
区役所、警察、消防 北区役所警察消防  
救急指定病院 含まれる

宮崎：避難所は採択条件ではない

- ：名古屋市避難所 ハザードによって場所を変える  
川でつかる 避難所に指定しない  
津波が来る 避難所に指定しない  
庄内川が切れる 堀川があふれる 選んでいない

宮本：ナゴヤドーム前キャンパスに通っている  
ドームもある、イオンもある  
住んでいないが来る人が多い  
雨になったら 台風は予測できる  
今は急に豪雨 ドームの客、大学生、イオン客  
帰宅困難者  
記載いただくと、B/Cでは見れないことも  
浸水防ぐとあるんだよ いいのではないか

鈴木：そのほか

B/C 教えて 整備期間 30 年

平成 23 年から 30 年 それから 50 年

費用として 完成後 50 年 更新はおこらないか

耐用年数は？

○：マニュアルに従って 維持管理費 建設費 0.5%

河川整備計画 マニュアル準拠 適宜改定

最新の知見で対応したい 現行は耐用年数

鈴木：名古屋市河川 耐用年数はどのくらいを見込んでいるのか

更新はどれくらい？説明にいれなくていい？

壊して作り直す 建設費が必要では

考え方

○：河川護岸 将来計画は持ち合わせていない

日常点検 異常が発生したら

○：土木施設 50 年

人工構造物 鋼管

河川 自然公物 1 回の洪水で壊れてしまう

耐用年数を決めるのではなく、点検してすぐ対応する

全国的にない

岸田：平成 12 年 97mm

今回 80mm

当然 100mm 超え想定される

B/C は考慮していない？

○：大雨あろうかと思う 東海豪雨シミュレーション

今回はマニュアル 川が将来目指すものに準拠

連携することで

岸田：国も変わる

鈴木：そのほか

まとめ

岸田：効果が2割減 詳しく見てもいい  
B/C 中身 変更高い  
名古屋市が事前に想定して検討しておく

村瀬：効果が出ているのはよい

宮崎：災害いつ起きるかわからない 豪雨  
早く進めるのは重要  
写真 護岸 景観にも配慮している  
周辺と一体化

宮本：河川の事業 B/C 大きく1を上回っている  
それの中に入らないような浸水面積2割削減  
人が集まる地域、駅が含まれる  
書いていただくとより効果が大きいとわかる

鈴木：こういった条件で 総括表が残る  
留意事項 様式決まっている？任意  
書き加えていただく  
補強すると説得力が増す  
下水道事業と連携 相乗的に効果  
それを示す資料 特に確認できない  
そのあたり 定性的な表現具体的にするといいのでは  
事業効果としてできると言い切っているが  
可能な範囲で  
より

岸田：下水 図の中でどう表現できるか  
この事業の関係

○：最終的な資料 総括表が公表される  
35 ページ 対応方針案  
どのような連携がどう効果？  
器を広げる より多くの水を流す  
より内水、市街地が助かる 両輪で



それを表現するのはスペース的には難しいかも 補足

鈴木：任意の様式 文言入れて

専門ではない方がいられるかも 検討を

以上

これで閉会

事務局に戻す

15:48

高木：次回 11/19 13:30 別の部屋

ありがとう

15:49